

第3回

「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ概要

グループワークの流れ

(5グループに分かれて、グループワークを実施)

① 実現したいアイデアを決める

第1回「賑わいづくり」・第2回「防災」で出たアイデアの中から、実現したいアイデアを選びました。

② 実現に必要なことを整理する

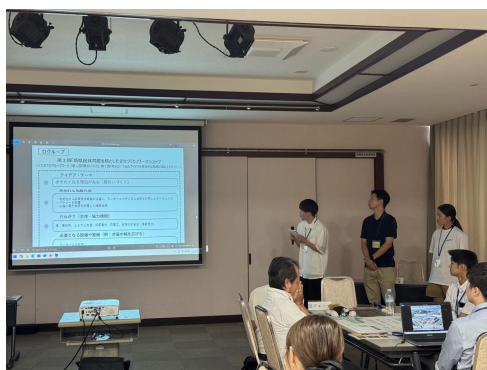
選んだアイデアを実現するために、必要となる設備や具体的な取り組みなどについてグループで話し合いながら様式に整理しました。

③ 生成AIでイメージ画像を作成する

②で整理した内容を基に、生成AIを使ってイメージ画像を作成しました。

④ グループごとに発表する

まとめた内容とイメージ画像を使って、グループごとに発表しました。



第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

～これまでのグループワーク（第1回「賑わいづくり」、第2回「防災」）で出たアイデアを具体的な取組に磨き上げよう！～

アイデア・テーマ

ふらっと来て、何度でも

具体的な取組内容

- ・道路沿いや周辺に滞在できる場所にする
- ・学生が集まれる場所

だれが？（主体・協力機関）

- ・高知県
- ・飲食店経営者

必要となる設備や整備（例：歩道の幅を広げる）

- ・おしゃれなカフェ、テラス、キッチンカー
- ・温泉、サウナ施設がある
- ・イベントができる広場や歩道、学生街
- ・路面電車に乗りやすく、たくさんの本数がある

いつまでに？（整備する時期）

施設の建設と同時に整備

整備にかかる概算費用（あてはまるものに ☒）

- ☐ 小規模（～数百万円）：植栽・サイン・簡易ベンチ 等
- ☐ 中規模（数百万円～数千万円）：屋根付き広場、Wi-Fi整備 等
- ☒ 大規模（数千万円～数億円）：新築棟、大型ステージ設備 等

メリット

- ・元々ある飲食店（県内経営者）にメリット（経済が回る）
- ・リピーターが来る
- ・
- ・

デメリット

- ・近隣住民への配慮
- ・高額な費用がかかる
- ・
- ・

[Aグループ]

第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ
ふらっと来れて、何度でも [アイデア・テーマより]

▲Aグループ発表内容を反映



第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

～これまでのグループワーク（第1回「賑わいづくり」、第2回「防災」）で出たアイデアを具体的な取組に磨き上げよう！～

アイデア・テーマ

通信設備の強い避難施設になるアリーナ

具体的な取組内容

- ・避難者が自分で情報を得ることができる（連絡が取りあえる）
- ・施設から情報発信ができる
- ・アリーナ観客席は浸水する前提とした施設

だれが？（主体・協力機関）

高知県、消防庁、通信業者

必要となる設備や整備（例：歩道の幅を広げる）

- ・津波で浸水しない高さに自家発電設備や通信設備、Wi-Fi設備を設置
- ・貸出スマホやタブレット、モバイルバッテリーを大量に確保
- ・災害情報を表示するモニター

いつまでに？（整備する時期）

施設の建築と同時に整備

整備にかかる概算費用（あてはまるものに ☒）

- ☐ 小規模（～数百万円）：植栽・サイン・簡易ベンチ 等
- ☐ 中規模（数百万円～数千万円）：屋根付き広場、Wi-Fi整備 等
- ☒ 大規模（数千万円～数億円）：新築棟、大型ステージ設備 等

メリット

- ・最新の災害情報が手に入る
- ・
- ・

デメリット

- ・設備維持に高コストがかかる
- ・貸出スマホやタブレット、モバイルバッテリーを用意する数が不明。
- ・
- ・

第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

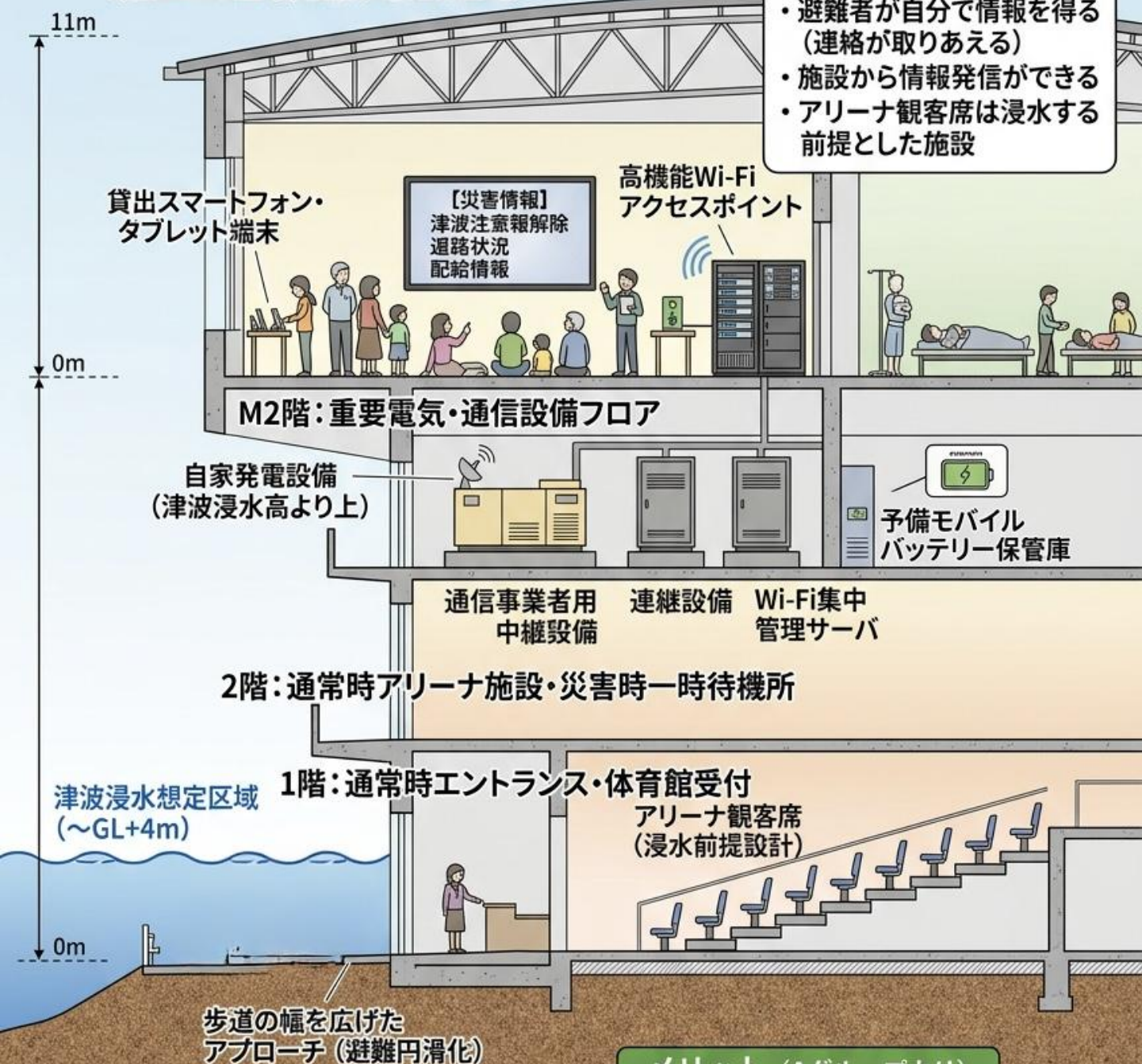
Aグループ提案に基づく断面図

テーマ：通信設備の強い避難施設になるアリーナ

3階：指定避難所（通信・情報ハブ）
海拔11m以上（津波浸水想定外区域）

具体的な取組内容

- ・避難者が自分で情報を得る（連絡が取りあえる）
- ・施設から情報発信ができる
- ・アリーナ観客席は浸水する前提とした施設



メリット (Aグループより)

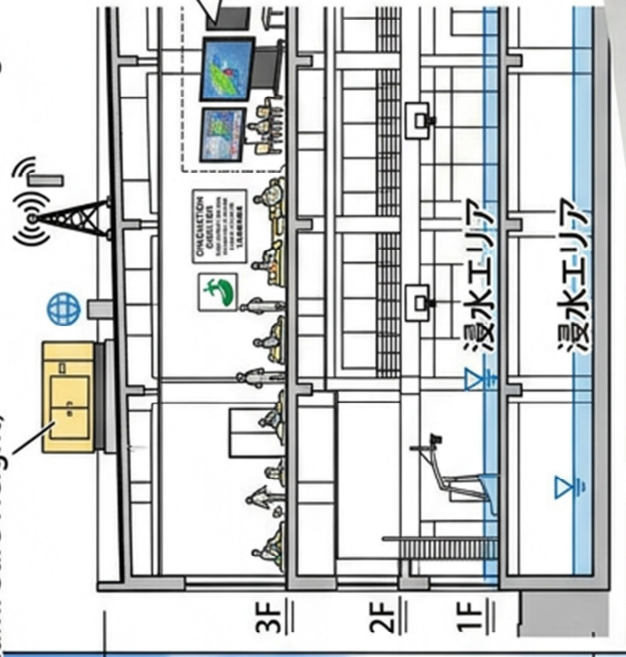
- ・最新の災害情報が手に入る

デメリット (Aグループより)

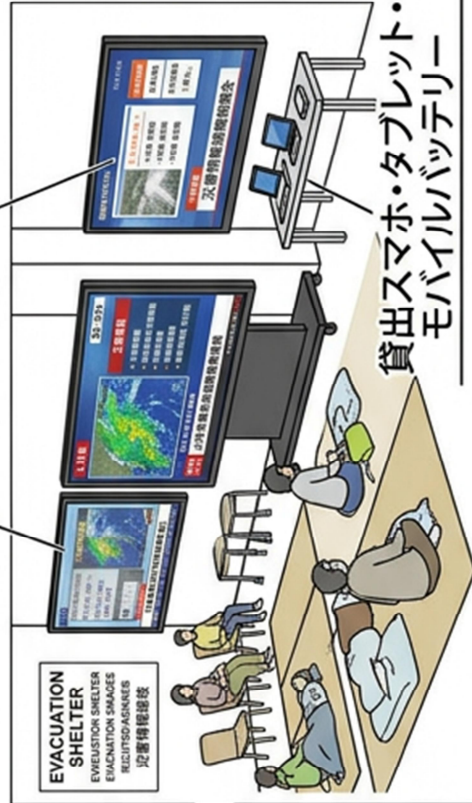
- ・設備維持に高コストがかかる
- ・貸出端末、バッテリー等の数量把握が困難

自家発電設備
(Tsunami Safe Height)

通信設備・Wi-Fiアンテナ
(Tsunami Safe Height)



避難者向け情報モニター



通信設備強化型アリーナ
(非常時避難所)



第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

～これまでのグループワーク（第1回「賑わいづくり」・第2回「防災」）で出たアイデアを具体的な取組に磨き上げよう！～

アイデア・テーマ

カフェや自習室の設置など、イベントがない時にも使いたくなるようなアリーナ

具体的な取組内容

- ・ジョン万次郎など高知の偉人が迎えてくれるカフェ
- ・気軽に入りやすいカフェの設置
- ・目的なく立ち寄れるフリースペースの設置
- ・オーテピアのような落ち着いた空間の創出
- ・歩道へのパラソルの設置
- ・海鮮など高知の美味しいご飯が食べられる場所の設置

だれが？（主体・協力機関）

高知県、民間企業

必要となる設備や整備（例：歩道の幅を広げる）

- ・道路の幅を広げる（街路樹の伐採含む）
- ・冷暖房
- ・カフェの入り口を2か所設置（アリーナ内側、外側）
- ・モニュメントの作成、設置
- ・机、イス、パソコン、コンセントの設置、Wifi環境の整備

いつまでに？（整備する時期）

・アリーナ完成から運営開始までの間

整備にかかる概算費用（あてはまるものに☑）

- ☐ 小規模（～数百万円）：植栽・サイン・簡易ベンチ 等
- ☐ 中規模（数百万円～数千万円）：屋根付き広場、Wi-Fi整備 等
- ☒ 大規模（数千万円～数億円）：新築棟、大型ステージ設備 等

メリット

- ・近隣住民や観光客の利用でにぎやかになる
- ・避暑地として利用できる
- ・歩行者の安全を確保
- ・魅力アップで人口減少改善
- ・移住者定着

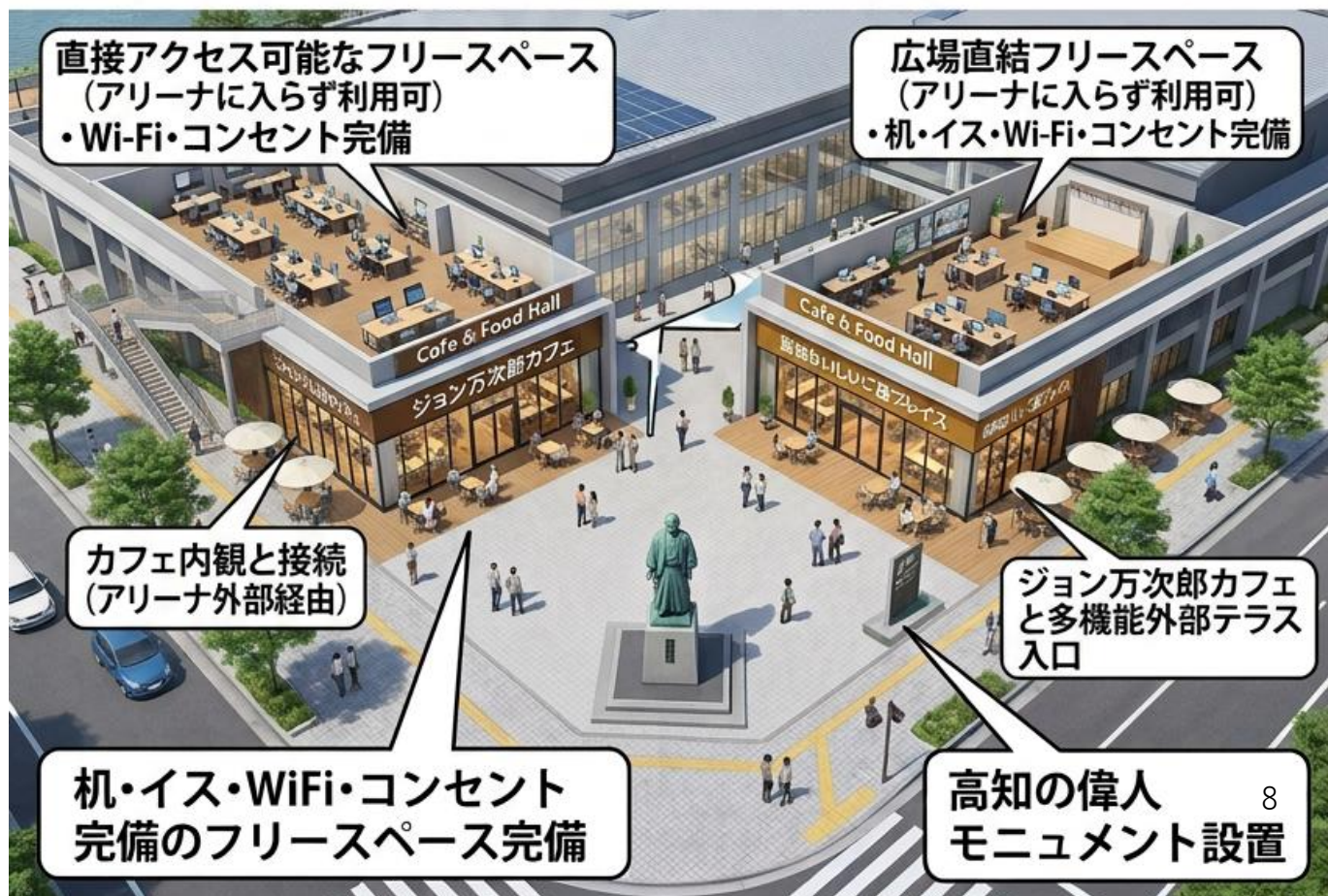
デメリット

- ・予算がかかる
- ・
- ・
- ・

新県民体育館を核としたL字型アリーナ構想



新県民体育館を核としたL字型アリーナ構想



第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

～これまでのグループワーク（第1回「賑わいづくり」・第2回「防災」）で出たアイデアを具体的な取組に磨き上げよう！～

アイデア・テーマ

● 中心街とアリーナ(賑わいづくり)

具体的な取組内容

- 中心街からアリーナまでの間の電車をラッピングする
- 商店街や電車の中でアーティストの音楽やアスリートの音声を流す
- アリーナの最寄駅からアリーナまでの間に屋根をつくる
- 街頭などにアーティストやアスリートのポスターなどをつける
- アリーナの外にミストをつける

だれが？（主体・協力機関）

● 自治体、警察、とさでん交通、商店街、出演者(アーティスト、アスリートなど)

必要となる設備や整備（例：歩道の幅を広げる）

- アリーナにエアコンをつけ、外にミストをつける
- 電車の駅からアリーナまでの間に屋根をつける
- 街頭を増やす
- 街頭にスピーカをつける

いつまでに？（整備する時期）

● アリーナの建設と同時に整備(アリーナ完成時に完成している状態)

整備にかかる概算費用（あてはまるものに ☒）

- ☐ 小規模（～数百万円）：植栽・サイン・簡易ベンチ 等
- ☒ 中規模（数百万円～数千万円）：屋根付き広場、Wi-Fi整備 等
- ☐ 大規模（数千万円～数億円）：新築棟、大型ステージ設備 等

メリット

- 楽しい、雨に濡れない
- モチベーションが上がる
-

デメリット

-
-
-



新県民体育館・アリーナ前

屋根付き広場・Wi-Fi整備エリア
(中規模整備)

第3回「新県民体育館を校としたまちづくり」
ワークショップに書く愛稱

第3回「新県民体育館を校とした」
ワークショップに書く愛称

第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

～これまでのグループワーク（第1回「賑わいづくり」・第2回「防災」）で出たアイデアを具体的な取組に磨き上げよう！～

アイデア・テーマ

● 歩きたくなる理由がある（賑わいづくり）

具体的な取組内容

- ・市街地から新県民体育館の沿道に、マンホールやデジタル看板を利用したデジタルスタンプラリーを設置
- ・沿道に電子看板を設置して情報発信

だれが？（主体・協力機関）

● 県、高知市、とさでん交通、四国電力、四電工、近隣の飲食店（情報提供）

必要となる設備や整備（例：歩道の幅を広げる）

- ・マンホールの改修
- ・LED看板の設置
- ・電気代を削減するために床発電システムを利用した発電システム（移動式や機関を決めて設置するなど）

いつまでに？（整備する時期）

● アリーナの建設と同時に整備

整備にかかる概算費用（あてはまるものに ☒ ）

- ☐ 小規模（～数百万円）：植栽・サイン・簡易ベンチ 等
- ☐ 中規模（数百万円～数千万円）：屋根付き広場、Wi-Fi整備 等
- ☒ 大規模（数千万円～数億円）：新築棟、大型ステージ設備 等

メリット

- ・県外者に高知の魅力してもらう機会になり、移住につながる
- ・デジタルを利用することで、情報の更新が容易にでき費用削減

デメリット

- ・設置するコストがかかる
- ・浸水時の耐久性
- ・耐用年数が超えたときの改修工事の費用
- ・

第3回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ

～これまでのグループワーク（第1回「賑わいづくり」・第2回「防災」）で出たアイデアを具体的な取組に磨き上げよう！～

アイデア・テーマ

高知市中心地からアリーナまでの歩く楽しさの創出

具体的な取組内容

- ・アリーナを演舞場とした「よさこい」
- ・高知市中心地からアリーナまでの区間に食べ歩きができる店舗、カフェの設置
- ・レンタサイクル
- ・高知ならではのシンボルタワーをアリーナに設置
- ・歩けばポイントがたまるアプリ
- ・パンどろぼうロードを作る

だれが？（主体・協力機関）

高知県、高知市、よさこい祭振興会、民間企業、国土交通省、柴田ケイコさん

必要となる設備や整備（例：歩道の幅を広げる）

- ・中心地からアリーナまでの歩道に屋根を設置
- ・レンタサイクルの設置
- ・歩道舗装（ベンチのカラー舗装、おしゃれな歩道）
- ・賑わい創出店舗への補助金

いつまでに？（整備する時期）

- ・新県民体育館会館まで（供用開始まで）

整備にかかる概算費用（あてはまるものに ☒ ）

- ☐ 小規模（～数百万円）：植栽・サイン・簡易ベンチ 等
- ☐ 中規模（数百万円～数千万円）：屋根付き広場、Wi-Fi整備 等
- ☒ 大規模（数千万円～数億円）：新築棟、大型ステージ設備 等

メリット

- ・観光客の増加
- ・市内の景観が良くなる
- ・県にお金がおちる
- ・イベント時以外も賑わいが増える

デメリット

- ・整備に膨大な費用がかかる
- ・近隣住民への騒音等によるクレーム



